

SBC 勝利まであと1点!

某MS 8 | 8 SBC

平成27年10月10日、東邦スタジアムにて、SBC（ソフトテックスベースボールクラブ）対某MSとの試合があった。
SBCは6回のウラ、8対5のビハインドの中、一挙3点を取り同点に追いついた。最終回はチャンスを作ったものの決め手を欠き、引き分けてゲームセットとなった。

今季初マスクで4番 大下

前回の試合では、投手と外野手をこなしたこの男。実は、捕手も出来るのだ。
試合前、木原監督より今季初マスクそして4番に指名された彼はヤル気に満ち溢れていた。もちろん、そのヤル気は結果としても現れていた。打っては2安打1打点。捕手としては、床島と石神を好リードし、相手の盗塁も1つ阻止した。まさに華麗なる捕手デビューとなった。

ミラクルキャッチ 河野（裕）

野球とは不思議なもので、交代して守備に就いた人の所にボールが飛んでくる。守備が苦手な人にとっては大変迷惑な現象であり、エラーをした時にはトラウマものである。
しかし、そのピンチをチャンスに変えたのが河野（裕）である。

交代して守備に就いたばかりの河野（裕）のところにはフライが高々と上がった。
SBCの誰もが「マズイ！長打になる！」と覚悟をした。

だが、彼にとっては、目を瞑ってでも取れるフライだったのか（？）、難なくキャッチした（下記写真）。

今季初打点 西田（悠）

6回の裏SBCの攻撃。得点圏にランナーがいる場面で西田（悠）に打順が回ってきた。
打った瞬間、ヒットだと分かるとも良い当たりであった。彼にとっては嬉しい今季初打点となった。このヒットが皮切りとなり、SBC打線に繋がりをもたらした。

今回の総



今回の試合は、打線の繋がりがや出塁率の高さにより8得点も奪うことができた。1週間前に行った練習の成果ではないだろうか。

その反面、守りには課題を残した。エラーや四球から失点する場面が多く、ミスが失点に繋がる事がほとんどであった。

また、以前からそうであるが、SBCの悪い所は、失点の直後、雰囲気が悪くなる所である。

その暗い雰囲気をズルズル引きずり、ミスの連鎖になる場面をこれまで何回も見てきた。

「暗い雰囲気を打破し、ミスの連鎖を断ち切る」これがSBCの次の試合の課題になりそうだ。



目を瞑りながらも好捕する河野（裕）

打順	守備	氏名	打席	安打数	打点	四死球	出塁
1	二	河野章吾	5	2	0	1	3
2	三	(助っ人)	5	2	1	0	2
3	遊	石神良梧	5	3	2	1	2
4	捕	大下聡一郎	5	2	1	1	3
5	投	床島真二	4	1	0	0	1
6	中	富永翔太	4	2	0	1	3
7	一	木原伸治	2	0	0	1	1
8	左	日高直人	1	0	0	0	0
9	右	外林良規	1	0	0	1	1
		西田悠一	3	1	1	0	2
		大野賢一	1	0	0	0	0
		河野哲二	1	0	0	0	0
		西田宏伸	2	1	1	0	2
		河野裕司	1	0	0	0	0

(記者: 西田宏伸) 【第7回 SBC速報】

【試合結果】

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
某MS	0	0	0	3	1	4	0	8
SBC	0	0	2	3	0	3	0	8

【投手成績】

* 床島→石神→床島

氏名	投球回	奪三振	失点
床島	5回1/3	3	3
石神	1回2/3	1	5

SBCメンバー募集中!

○次回の試合は、10月末を予定しています。
☆ これからも皆様の応援よろしくお願い致します ☆